

376 中央大学秋季陸上運動会

〔『法学新報』第24巻11(281)号 大正3年12月1日〕

○中央大学秋季陸上運動会 天長の佳辰を卜して秋季陸上大運動会を郊外中野運動場に開催する筈なりしも生憎の降雨の爲め延期して思ひ出多き十一月三日を以て挙行することとなりたり此の日や蒼空一片の緋雲をたに留めず肥馬金風に嘶きて霜色漸く深きを加へ颯爽の氣乾坤に溢る吾二千の健児は今や日頃鍊磨

せる技倆を發揮して月桂冠を得んものと勇躍するの状誰か痛快ならずとせんや時恰も午前九時数発の狼烟は中空に轟きぬこれ纏て待ち焦かれたる競技開始の通報なりき第一の競技二百米突競争は初まり数十名の競技者は「スタート」に整列して合図おそしと待つ様の勇ましき銃声一発駆け出し血氣漲る青年は赤と呼び青と叫んで狂せんはかりなりしか遂に予備校藤堂進君第一著を占め二著は予備校小池君、三著経済科二年長田君と定まれり之に次で戴囊競争行はれ第四第五の幅飛高飛と進み幅飛に於て予科酒田敏照君か十六尺五寸を飛ひて第一等賞を得高飛に於ては商科神崎四郎君の五尺八寸を以て最高とす第六回障害物第七回と逐次載囊抽籤英語綴等行はる英語綴の如き瞬間に「カード」を拾ひ居たるものあれば数分を経て未だに「カード」を探かし廻はる者などありて面白く抽籤に至りては女学生の指輪あり下駄あり小供あり各自其指示せられたるものの蒐集に忙しく殊に小供持参の籤引きし者は来観者の伴はれたるを無理やりに借りて然も第一著を為し得意満面なるに拘はらず借りたる小供に泣き出され其慰諭に窮したるか如きは滑稽の極なりし此間運動タイムス社は各競技毎に例の奇抜なる号外を發行し之を異様な服装をせる売子に配達せしめて満場を笑倒せしめ其名譽ある売子に任せしは商科二年の飯田、大野、清水、小野寺の諸君にして為に一層の興味と活氣を加へたるは大に諸君に感謝せざるを得ず六百米八百米千米と「ランニング」競争も行はれ三十五回千二百米突競争には健児中の猛者をすぐつて銃声と共に駆け出したり一先一後毫も油断はなかりしか審判係より六回と注

意するや各自有する全「エネルギー」を出し「ヘビー」を揚げて遂に一等は予科山口幹君か三分四十二秒にて其月桂冠を得たり正午より「グラウンド」の中央に角力が始まつた肥大の青年か梅ヶ谷を気取り常陸山を以て任するなど国技館以上の興味あり五人抜は日本大学長富君吾校の安部君明治大学山口君のものとなつた午後の競技に移りては先づ暗算競争の計算を間違てお百度参りをするものもあるも面白く下駄競争、提灯、一分間、千鳥、天狗と逐次遂行し彼の大きな下駄に身をのせて一生懸命に走り下駄と下駄との衝突にて転倒し起もなし得ず来観者をして抱腹せしむるあり競技は益々佳境に入りて我人共に酔へるか如く楽隊の音は唳唳として青春の血を湧かしめ時時打ち挙ぐる狼烟は益々場内の人心を爽快ならしめ斯日は一般就業の日なるにも拘らず来観者は犇犇と詰め掛け流石に広き運動場も立錐の余地なく恰も割引電車のそれに髣髴たり時機逸すへからずとなし予科学生の獅子の仮装行列が始まつた獅子か走れば続くは法科の社会行列出てて孰れも喝采を博し次に商科の仮装行列となり数十の章魚か躍り出したるには観者をして抱腹絶倒せしめたり夫れより対部「レース」に移り応援の声は四方に湧き遂に柔道部、剣道部、辞達会の順位を得たり次に各中学校生徒との選手競争に入り豊島師範の野口征吉君は六百米を一分三十三秒にて駆け終りて一等慶応岸君青山師範鈴木君の順位となれり六十一六十二回の小学校選手競争に坊ちゃん連か走り出し遂に桃園の田中政治君同しく山崎万吉君か一等を得其得意なる面貌無邪気にして実に可愛らし第六十八回六十九回専門学校選手競争と

なるや各学校の応援団は盛に声援し始め殊に明治大学、日本歯科、日本医学専門学校の応援は人目を惹きたり六十八回に於て農大船山穂平君は六百米突一分三十五秒にて第一著を為し一高沢田一郎君は一分三十六秒二著高師多久保次郎君は一分四十秒三著となり次回に於ては慶応の津村清次君は一分三十六秒次は高師の鈴木銀次郎君次は明大の林清秀君の順位となり月桂冠は遂に農大の船山君の手に落ちたり七十一回中学校選手競争に於て一等麻布中学飯村次郎君六百米一分三十六秒二等青山師範村錦君三等園芸武藤君と決し第七十三回は遂に本大学対科「レース」となり当日第一の呼物にして各科共小旗を作り来観者に之を配り応援団は躍起となりて狂ひまはり互に応援歌を合唱しフレ、フレの声ここかしこに喧し選手は泰然として「スタート」にありて意気軒昂各自必勝を期するものの如く銃声の合図今や遅しと待ちうけたり「ズドン」の音と共に選手は猛然と走り出せり赤と喚ひ青と叫び応援団は狂気の如く夢中になりて声援せり来観者も亦熱して片唾を呑み手に汗を握りて其決戦の状を見守りたり最後の一週に至り寺島、野呂、石渡の商科三選手は猛烈なる「ヘビー」を掛けて遂に勝は商科の手に帰したり……ああ荣誉ある優勝の花輪は寺島君の双肩に掛れり商科の応援団は選手を擁して優勝旗を前列に押立てて応援の歌声勇ましく「グラウンド」を一週して奥田学長の前に至り商科の万歳を三唱せしか時に日も亦西山に向きて既に五時を報し短かき秋の日も爰に終らんす一同は吾中野「グラウンド」の中央に集まり中央大学及び奥田学長の万歳を三唱し愉快なる此会を了して

解散したり
(委員報)